

第54回 埼玉県臨床細胞検査士会鏡検セミナー

症例⑤：消化器(膵臓)

症例 ⑤ : 70代 男性

材料 : 胆汁

塗抹法 : すり合わせ法 (Pap)

臨床情報 : 黄疸あり, CA19-9 上昇あり

現病歴

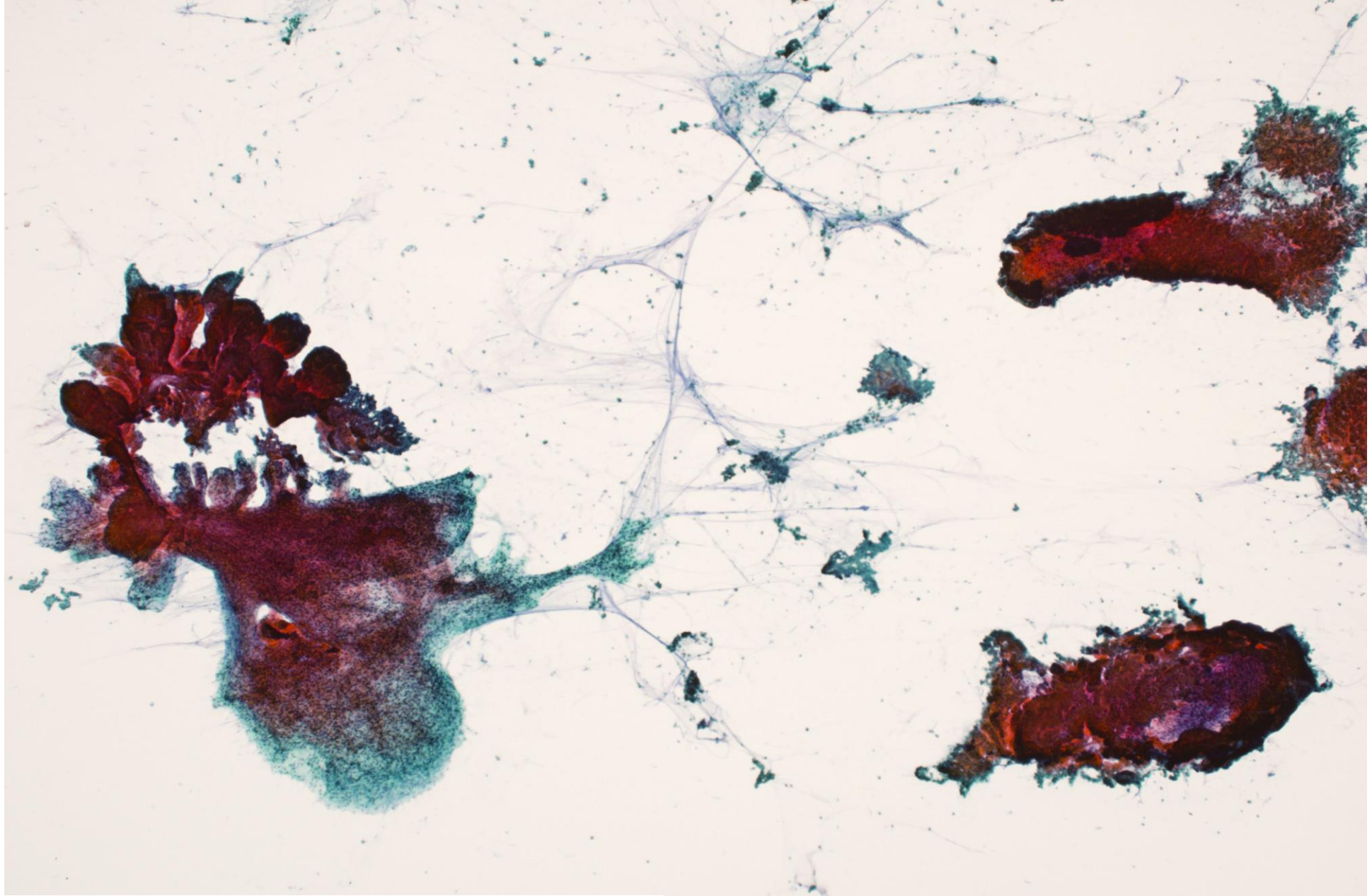
2024年5月, 喀出困難があり近医受診.

CTにて右肺上葉に腫瘍が認められた.

その後のPET-CT検査で膵頭部にも集積が認められたためERCP検査が施行され, 膵頭部の主膵管内を占拠するような乳頭状腫瘍が認められた.

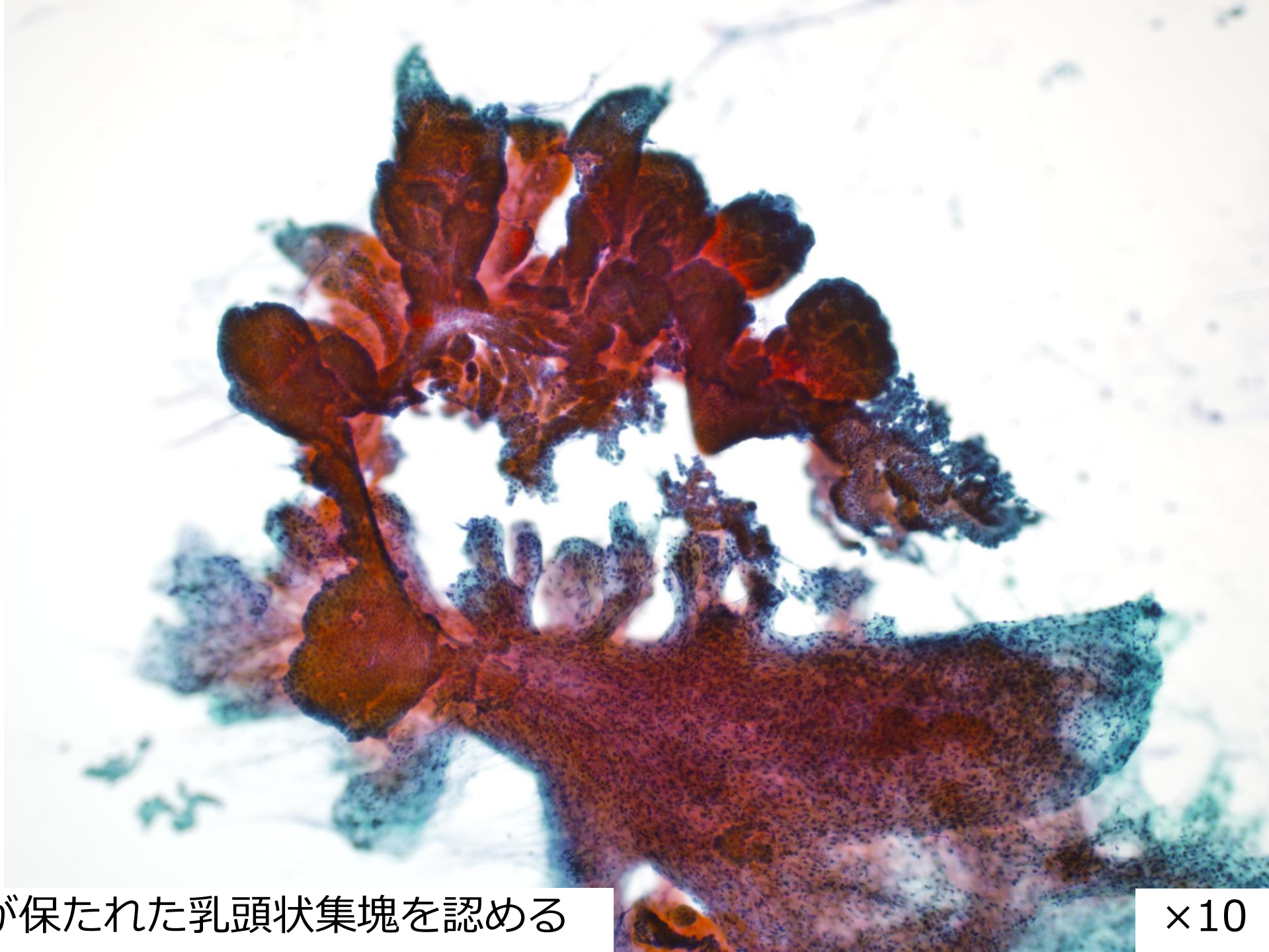
症例⑤ 消化器 事前解答

- | | |
|-----------------|-----|
| 1. IPMN | 4名 |
| 2. IOPN | 10名 |
| 3. 浸潤性膵管癌（高分化型） | 3名 |
| 4. 肺癌の膵転移 | 0名 |



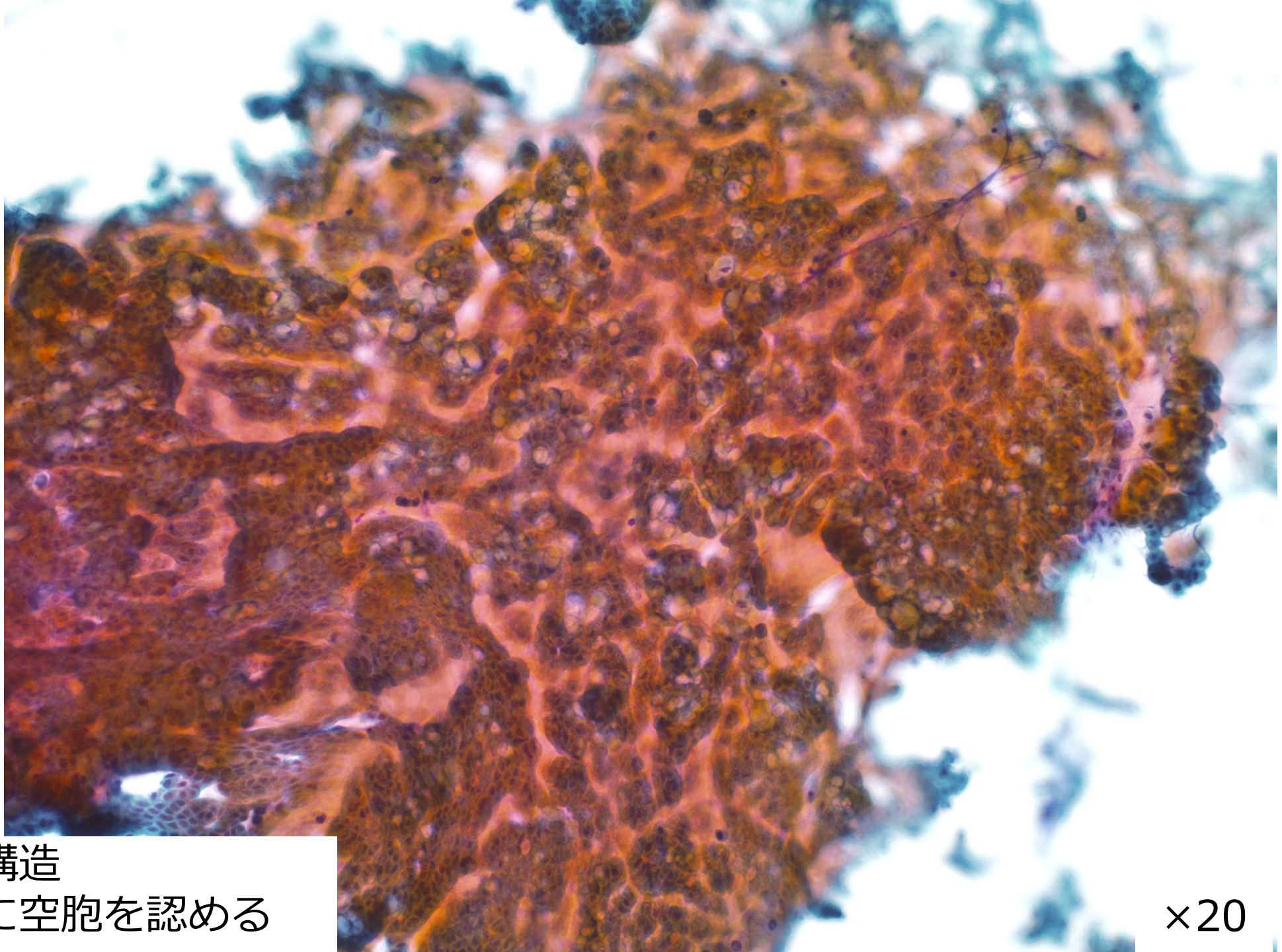
- 背景：粘液がみられる
- 乳頭状増殖を示す細胞集塊がみられる

×4



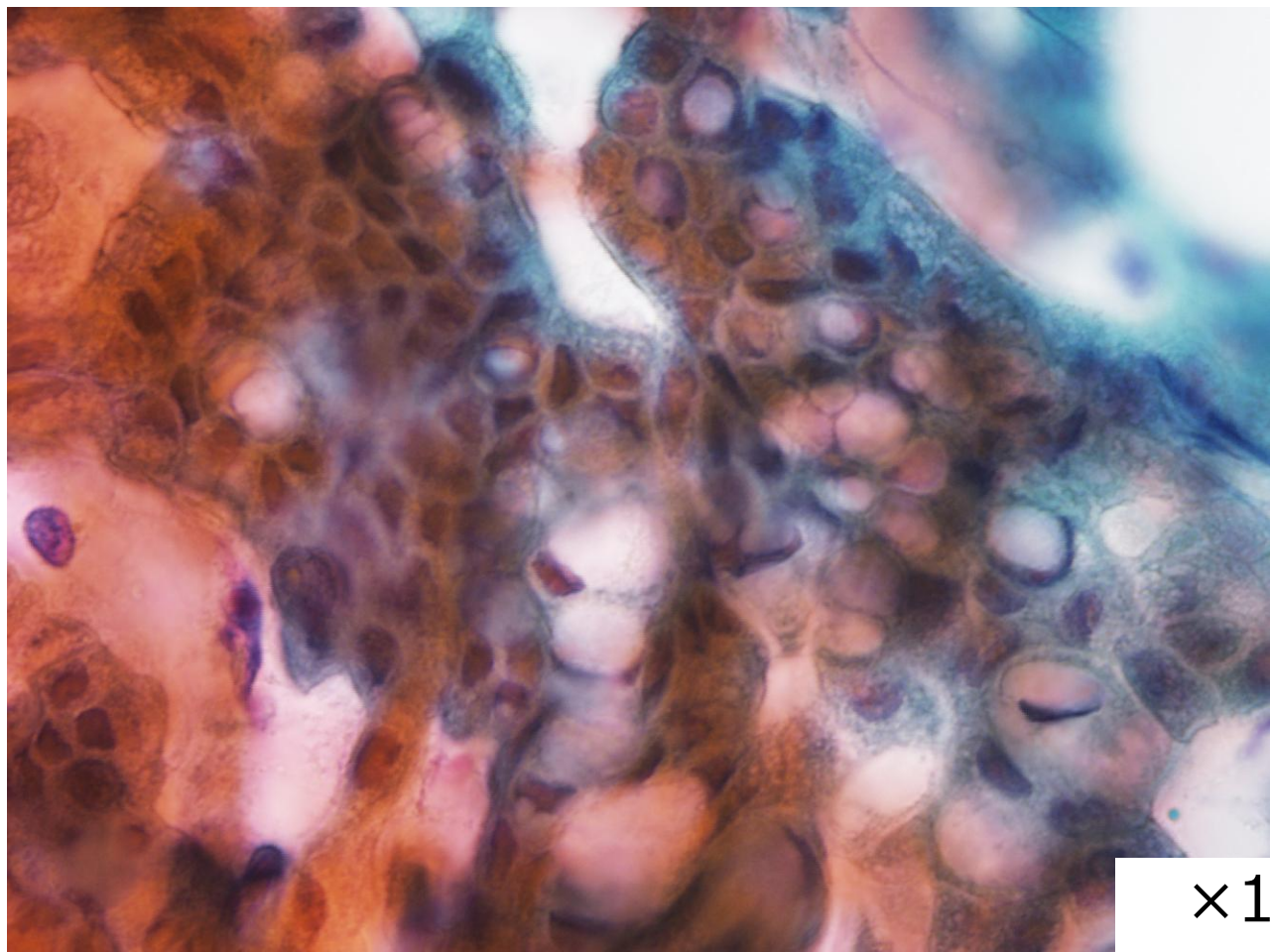
・ 結合性が保たれた乳頭状集塊を認める

×10

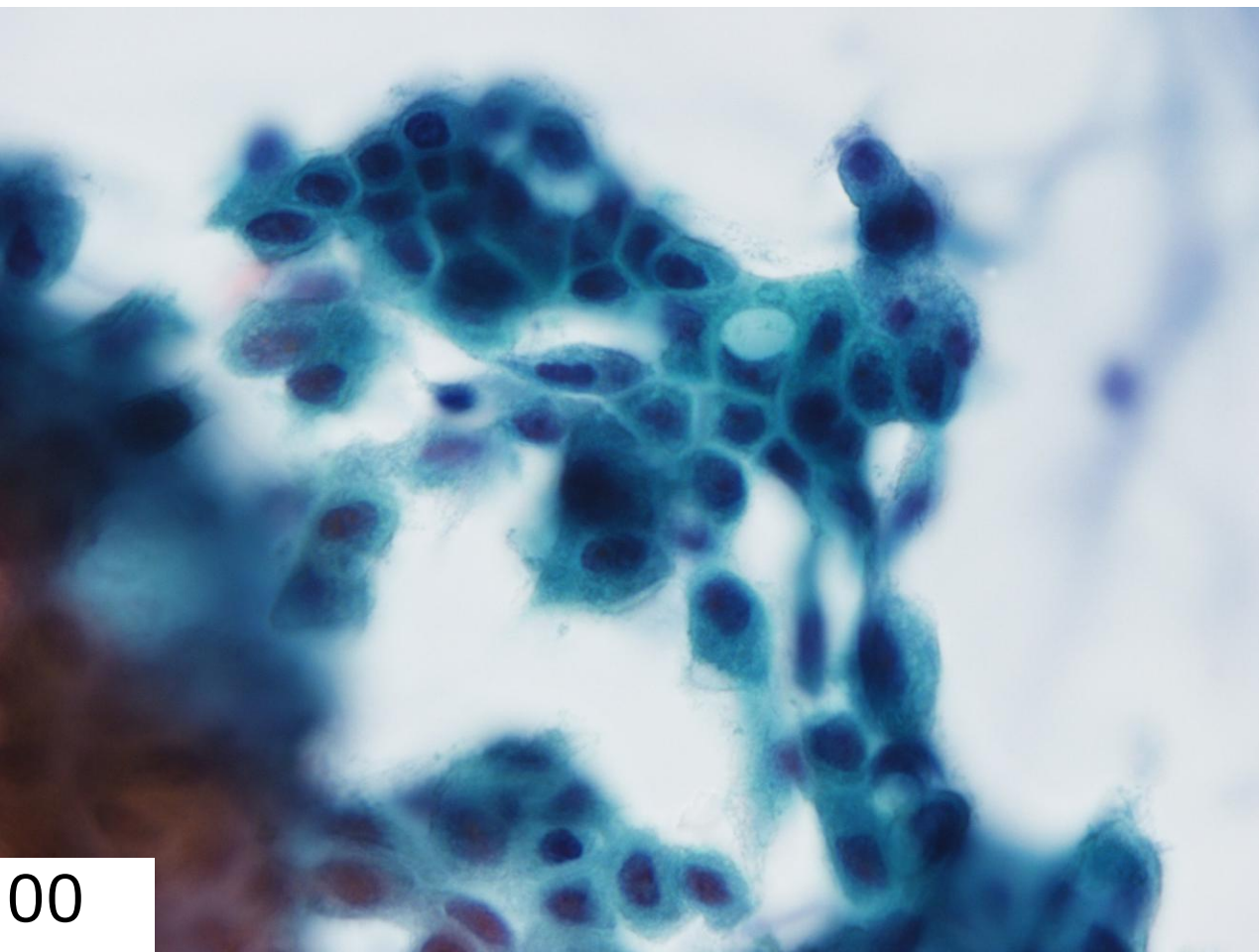


- 複雑な構造
- 集塊内に空胞を認める

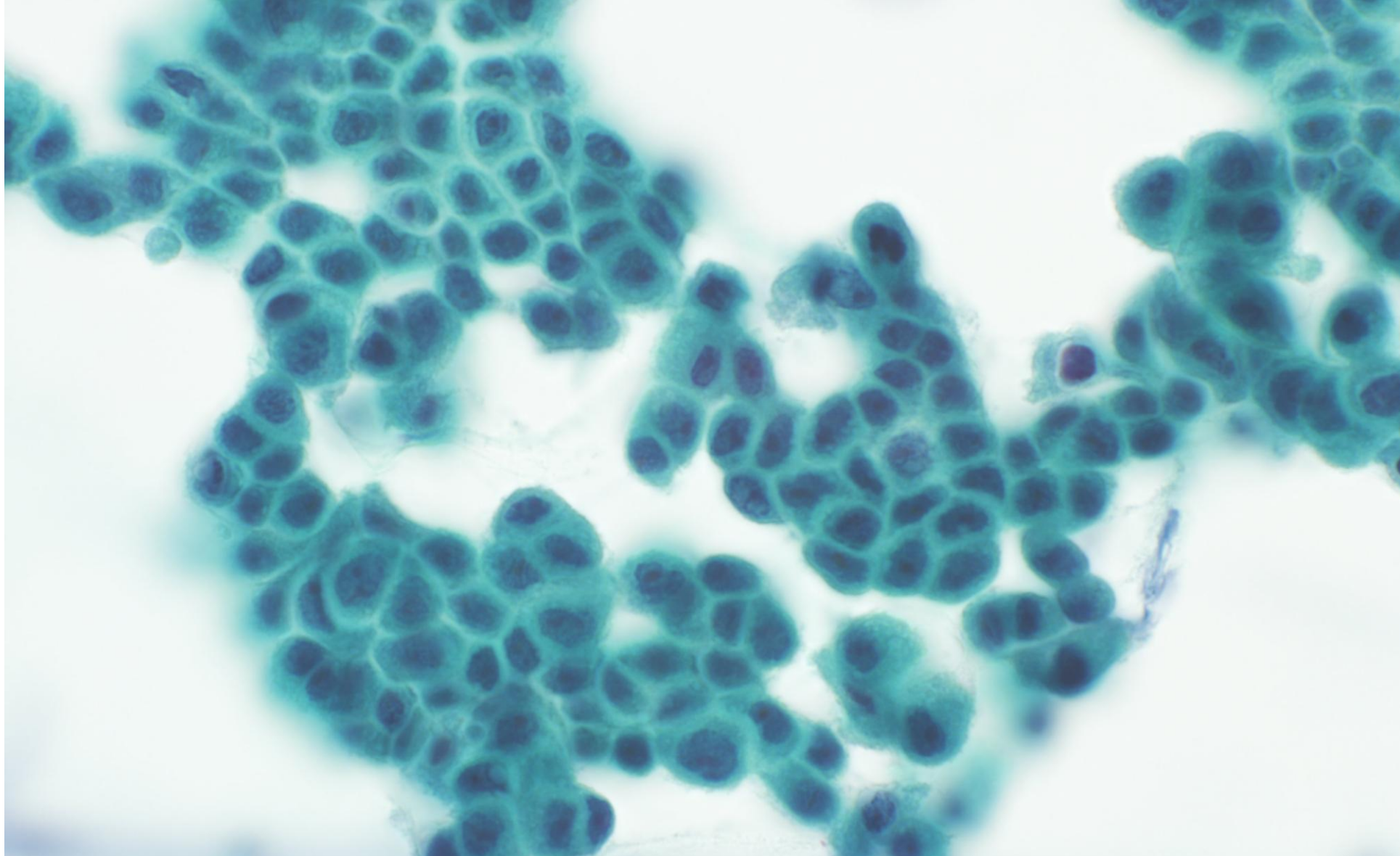
×20



×100



- 集塊内に小腺腔様構造を認める
- 細胞質内に空胞を認める



- 核の大小不同性，核形不整を認める
- 核クロマチン：増量ないし濃染
- 細胞質：顆粒状，細胞境界明瞭

×100

解答

1. IPMN (Intraductal papillary mucinous neoplasm)
2. IOPN (Intraductal oncocytic papillary neoplasm)
3. 浸潤性膵管癌 (高分化型)
4. 肺癌の膵転移